日能研	4年							
	算数							
学習内容	10回　速さと進行ブラフ 11回　線分図の活用① 12回　線分図の活用② 13回　つるかめ算							
家庭学習ポイント	11月は「速さと進行ブラフ」「線分図の活用①」「線分図の活用②」「つるかめ算」を学習していきます。「速さと進行グラフ」ではグラフの書き方と意味、そして図形のように速さの問題を解くことを学びます。この単元では、単にグラフを書くことが重要だと考えていると、本質を見失ってしまいます。なぜグラフにするとよいのかを考えて学ぶ必要があります。進行グラフを書いて解く速さの問題は、「時間の要因がポイントになる問題」だということをしっかり押さえておきましょう。線分図と違い、進行グラフは横軸に速さを表すことができ、時間の経過と進んだ距離を可視化して考えることができるのがさいだいのポイントになります。11回からは和差算、つるかめ算などの「特殊算」の学習に入ります。特殊算に関しても、問題それぞれについて適した解き方がありますが、やはり図法や解き方を覚えることが大事なのではなく「なぜその図を書くと解くことができるのか」をしっかり納得して置くことが大切になります。							
課題の把握と解決策	チェック1	「どうして進行グラフを書いて考えるといいの？」という質問にどんな返答が返ってきますか？	チェック					
	解決策	「時間」という要素そ絡めた返答であれば優秀ですね	□					
	チェック2	「進行グラフを書くと速さの問題を図形として考えられる」のはどうしてでしょうか？	チェック					
	解決策	グラフによってできた三角形の相似を使うことができるから、つまり比の利用ですね	□					
	チェック3	つるかめ算など文章題では問題では、必ず図や表を書いて考えていますか？	チェック					
	解決策	「なぜそのような図を書くと考えやすいのか」ということを意識することが大切です	□					
	チェック4	間違った問題はテキストの解説を読み、再度自力で解けるか確認していますか？	チェック					
	解決策	「わかった」と納得するだけでなく、できれば時間が経ってから解き直してみましょう	□					
	チェック5	線分図を書くときの注意点を質問すると、どのような返答が返ってきますか？	チェック					
	解決策	左端や上下を揃える、同じ量は上下揃える、といった返答があればいいですね	□					

日能研	4年		
	国語		
学習内容	10回　登場人物の行動と心情① 11回　登場人物の行動と心情② 12回　登場人物の性格① 13回　登場人物の性格②		
家庭学習ポイント	引き続き、物語文を中心に、場面の変化や情景を読み取る訓練を続けていきます。そこから登場人物の性格を読み解き、さらにはその心情を類推することを学びます。内容理解や共感から、物語の構造を意識した読解へ移行する時期です。その前提として、これまでに学んだ「映像化」を駆使することも忘れず行いましょう。物語の流れに沿って、情景を頭の中で思い浮かべていくことが大切です。登場人物のキャラクター、顔つき、服装などについても想像してみましょう（マンガやアニメのようなイメージです）。そして場面が大きく変化するところ、演劇ならば暗転して背景やBGMが変わるところ、雰囲気が明るくなったり暗くなったりするところを確認し、物語全体の構成を掴んでいくイメージです。次に登場人物の行動からその裏にある気持ちを読み取り、次にその気持ちを引き起こした直前の出来事を確認します。最後に、その出来事が、その気持ちを引き起こした理由（背景）までつかめれば、心情記述の材料はそろいます。		
課題の把握と解決策	チェック1	物語文の読解では「映像化」を駆使していますか？	チェック
	解決策	情景や登場人物のキャラなどまで、アニメのように想像してみましょう	□
	チェック2	物語文を主観で読んでいませんか？	チェック
	解決策	誤った答えを選んでいる場合「それは文章のどこに書かれている？」とお子さんに聞いてみましょう	□
	チェック3	語彙を増やす努力をコツコツ続けていますか？	チェック
	解決策	ご家庭の会話で、あえてお子さんの知らないタイプの言葉で話してみるのもいいですね	□
	チェック4	登場人物の気持ちが変わったところを把握できていますか？	チェック
	解決策	お子さんに「どこを読むとわかる？」「何があったから変わったの？」と質問してみましょう	□
	チェック5	読書と読解の違いがわかってきていますか？	チェック
	解決策	客観的な読解には豊富な語彙も必要です。「思い込み」で読んでいる箇所がないか確認しましょう	□

日能研	4年							
	理科							
学習内容	6回　満ち欠けする月 7回　豆電球の明るさ							
家庭学習ポイント	星の動きに続いて6回は「満ち欠けする月」について学習します。月の満ち欠けを「暗記」「知識分野」と捉えると、月の満ち欠けの形と順番、見える時間帯など、覚えることがたくさんあります。しかし、地球の自転・公転や月の公転などの天体の動きを理解するという方向から考えると、覚えることはそう多くはありません。地球と月、太陽の位置関係の模式図を自分で書けるようにしておきましょう。並行して夜、観察時間を作って、月について「今回の満月（2022年11月sの満月は8日で皆既月食がありますね）から次の満月まで」の期間、月の入り・月の出・月の形状（三日月・上弦の月など）の観測日記をつけてみることができれば、さらに知識が立体的になるでしょう。7回からは物理分野、電流の学習に入ります。まずは豆電球、乾電池がそれぞれ2個までの回路について、それぞれの直列、並列つなぎのときの豆電球の明るさから「乾電池の直列＝回路に流れる電流が大きくなる」「乾電池の並列＝回路に流れる電流は1個のときと同じ」「豆電球の直列＝回路に流れる電流が小さくなる」「豆電球の並列＝回路に流れる電流が大きくなる」ということから、徐々に電圧、電気抵抗の理解につなげていくことが重要です。自分で実験してみることも理解を深める助けになるでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	月の満ち欠けを、模式図を使って説明できますか？	チェック					
	解決策	ぜひお子さんに説明してもらってください	□					
	チェック2	実際のつきを見上げたときに「光っている方に太陽がある」と意識できていますか？	チェック					
	解決策	たとえば上弦の月が南中しているとき、光っている右側（西）に太陽があります	□					
	チェック3	電気回路の「ショート」について理解できていますか？	チェック					
	解決策	「豆電球＝電気抵抗」がないと「遮るものがまったくない」というイメージですね	□					
	チェック4	豆電球の内部のつくりについて理解できていますか？	チェック					
	解決策	フィラメント＝電気抵抗、回路には電気抵抗が必要というイメージが大切です	□					
	チェック5	電気回路の実験をご家庭や学校でしたことがありますか？	チェック					
	解決策	なければぜひこの機会に行ってみてください	□					

日能研	4年							
	社会							
学習内容	6回　関東平野をうるおす利根川 7回　海とともに生きる三陸地方							
家庭学習ポイント	11月は6回「関東平野をうるおす利根川」7回「海とともに生きる三陸地方」を学習します。第6回では、利根川が周辺の地域に及ぼしている影響を過去と現在の両面から捉えることが大切です。江戸時代には東京湾に流れていた利根川を太平洋へと流した治水工事の結果、江戸と太平洋を結ぶ水路ができたこと、関東地方の水源地として利根川が果たす役割などにも注目しましょう。第7回ではリアス海岸のでき方、世界有数の漁場としての三陸沖での漁業、わかめ・こんぶ・カキなどの養殖について、そして東日本大震災で顕著に表れた津波の問題などをしっかり押さえておきたいですね。東北や北海道に限った話ではありませんが、各地の気候や地形の特色は農水産業に大きく影響しています。学習する際にはどのような気候や地形がどのような農水産物に適しているかを意識しましょう。ある地域で特定の農水産物が生産されるのはどのような条件が満たされているからかを考えることが重要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	利根川は、何が日本最大であるか説明できますか？	チェック					
	解決策	流域面積が最大である点を、支流の多さ（鬼怒川・渡良瀬川・荒川など）などから説明しましょう	□					
	チェック2	利根川の流域に属する都道府県をすべて答えられますか？	チェック					
	解決策	群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、東京の1都5県ですね	□					
	チェック3	三陸沖が「世界有数の漁場」と言われる理由を説明できますか？	チェック					
	解決策	黒潮と親潮がぶつかる「潮目」がありプランクトンが大量発生するため魚が多いんですね	□					
	チェック4	リアス海岸で養殖が盛んな理由を説明できますか？	チェック					
	解決策	海岸線が入り組んでいて、波が穏やかだからです	□					
	チェック5	社会の学習に地図帳、白地図を活用していますか？	チェック					
	解決策	特に白地図は自分で作ると繰り返し入試まで活用でき、おすすめです	□					